

# 今後の行事予定

介護のお仕事体験 はじめの一歩応援します!

## ■介護体験3日間コースに参加しませんか?

介護は初めて…私にできるかしら? ▶ **安心して下さい!**  
入職前研修で体験・実践  
経験はあるけど…少し不安だわ… ▶ **できます!**

受講・保育 無料      基礎技術が学べます!      自信を持って働けます!

- 対象：介護職未経験者または、手技や知識に自信のない方
- 日時：①10月12日(水)・13日(木)・14日(金)  
②12月 7日(水)・ 8日(木)・ 9日(金)  
10:00~15:00 (昼休憩あり)
- 費用：無料  
※保育利用可 ※昼食付き ※1日だけの参加でもOK

	AM 10:00~12:00	PM 13:00~15:00
1日目	●オリエンテーション ●講義 ①社会状況について ②介護とは ③高齢者介護について	●療養生活援助 ①シーツ交換 ②口腔ケア
2日目	●講義(安全な介護) ①事故対策 ②感染対策 ③災害対策	●療養生活援助 ①排泄介助 ②移動介助
3日目	●療養生活援助 ①食事援助 ②入浴介助 ●病院・施設見学ツアー	●病棟実習(半日・1日もOK) ●就業相談(お茶会)

**お申込みお問い合わせ** 医療法人社団永生会 永生病院 看護部長室 担当：斉藤・梶  
TEL/FAX 042-661-4172 e-Mail:kango@eisei.or.jp http://www.eisei.or.jp

## 医療法人社団 永生会

理念：人々に質の高い、安心な、やすらぎにあふれた、リハビリ・マインドのあるヘルスケアサービスを提供します。

- 永生病院 〒193-0942 東京都八王子市栲田町583-15 TEL.042-661-4108
- 南多摩病院 〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1 TEL.042-663-0111
- 永生クリニック 〒193-0942 東京都八王子市栲田町588-17 TEL.042-661-7780
- クリニック0(ゼロ) 〒193-0943 東京都八王子市寺田町490 TEL.042-666-1556

- 介護老人保健施設  
イマジジン 〒193-0942 東京都八王子市栲田町583-15 TEL.042-662-7000
- マイウェイ四谷 〒160-0015 東京都新宿区大京町1-3 TEL.03-3355-0428
- オネスティ南町田 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-788-0373

- グループホーム  
寿限無 〒193-0942 東京都八王子市栲田町590-4 TEL.042-662-6500

- 通所リハビリテーション  
スマイル永生 〒193-0942 東京都八王子市栲田町588-17 TEL.042-661-4175
- イマジジン 〒193-0942 東京都八王子市栲田町583-15 TEL.042-662-7000
- クリニック0(ゼロ) 〒193-0943 東京都八王子市寺田町490 TEL.042-673-5720

- 訪問看護ステーション  
めだか 〒193-0942 東京都八王子市栲田町513-13-1F TEL.042-661-5080
- とんぼ 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6351
- ひばり 〒193-0835 東京都八王子市千人町2-13-8-1F TEL.042-649-6917
- いるか 〒193-0364 東京都八王子市南大沢1-18-11-A103 TEL.042-659-2213
- 口笛 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-706-8810

- 居宅介護支援事業所  
ケアプランセンター えいせい 〒193-0942 東京都八王子市栲田町583-15 TEL.042-662-7020
- 居宅介護支援事業所 片倉 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6335
- ケアプランセンター びあの 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-706-8808

- 八王子市高齢者あんしん相談センター  
八王子市高齢者あんしん相談センター 片倉 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6331
- 八王子市高齢者あんしん相談センター 寺田 〒193-0943 東京都八王子市寺田町137-4 TEL.042-673-6425

## 医療法人社団 明生会 セントラル病院

- 本院 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-18-1 TEL.03-3467-5131
- 分院 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町25-1 TEL.03-3465-5131
- 松濤 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-11-12 TEL.03-3485-5131

- 永生会協力会社  
在宅総合支援サービス 十字ヶケアステーション 〒193-0833 東京都八王子市めじろ台1-9-1 TEL.0120-537-0800

シャトルバス運行中 永生病院 ▶ めじろ台駅 ▶ 南多摩病院 ▶ 西八王子駅 ▶ めじろ台駅 ▶ 永生病院

さまざまな永生会の機能を患者様・ご家族様・ご利用者様に余すことなく提供できればと考え、コールセンターを開設しています。

**eisei** 永生会コールセンター ☎ 0120-001-083 http://eisei.or.jp/

通信

# e i s e i

地域と患者さまに、永生会の今をお届けする



●大きなひまわりの絵が印象的な介護老人保健施設イマジジン

## CONTENTS

- MESSAGE 医療法人社団永生会理事長 安藤高朗からのメッセージ ●表紙について
- えいせいNEWS ●お知らせ
- EVENT
- 知って得するお話 ●医療と介護の今後
- 交流TOPIC ●あのかたこのかた ●今後の行事予定

71  
2016.08

理事長

あんどう たかお

## 安藤高朗からのメッセージ

### 介護老人保健施設イマジンをご紹介します。

夏本番をむかえ、ここ八王子においてもお祭りが盛んに行われました。今号の特集ページでも祭りをはじめ、地域との交流を特集しておりますので是非ともお読みいただき、八王子のエネルギーを感じていただければ幸いです。

さて、今号の巻頭言では介護老人保健施設イマジンをご紹介します。永生病院のすぐ隣に位置するこのイマジン。改修工事を8月初旬に終え、新しい環境となりサービスを提供しています。入口を入ってすぐ、1Fホールはデイケアとリハビリ訓練スペースになっており、壁面に描かれたひまわりの絵画や、天井の高い空間が印象的です。要介護度に応じた各フロアや居室に加え、5Fは認知症の方々の専門棟でもあり、四季を通じてレクリエーションも盛んに行われています。

一般的に介護老人保健施設は、主に医療ケアやリハビリを必要とする要介護状態の高齢者の方（65歳以上）の受け入れを行います。食事や排泄の介助など、介護サービスも提供されますが、あくまでも在宅復帰を目的としており、自宅などに戻るためのリハビリが手厚く行われます。また、一定期間ごとに継続や退所の検討も行われるため、特別養護老人ホームのように最期まで過ごすといった体制とも異なります。

このように家に帰るまでの準備期間として機能する介護老人保健施設。ただ、人それぞれのゴールや目的には違いがあるため、一概に在宅復帰だけが目的とは言い切れません。イマジンは在宅復帰支援機能加算の算定施設でもあります。医師、看護師、リハ職員、介護職員、事務職員が生活のお手伝いをしながら、その人らしいゴールを見つける場所、期間となれるよう、スタッフひとりひとりが意識を高く持ち、お

互いに協力しながら在宅復帰だけにこだわらない生活の支援を行っています。

さらに今後の展望として、在宅へ戻る際の不安を少しでも解消できるように、イマジンの担当職員が訪問サービス（家屋評価や訪問リハ）を行うといった、家に帰った後も一貫したサービスが提供できるよう努めていくつもりです。

具合が悪くなって緊急で短期入所する際にも顔なじみのスタッフがいるから安心して入所できる。地域にとって、利用者様にとって強く頼れる施設でありたい。そんなひとりひとりのスタッフの想いで作られた老健、それがこのイマジンです。

医療法人社団永生会理事長 安藤高朗



改修工事を終え、1Fホールが開放感のあるデイケア、リハビリスペースへと様変わりした。日々多くの利用者様とスタッフにより、活気あるにぎやかな空間となっている。

Blog安藤たかおの見聞録 <http://ameblo.jp/ando-takao/>



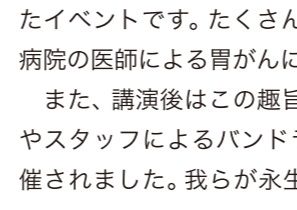
<https://www.facebook.com/takao.ando.395>

### 表紙について

#### 介護老人保健施設イマジン

壁面に描かれたひまわりの絵画はイマジンの象徴。スタッフとふれ合う入居者様、利用者様の笑顔も多く、スタッフは常に利用者様の「その人らしさ」を第一に考え、生活を支えるお手伝いに努めています。地域と施設をつなぐ役割を担っていけるよう、イマジンのスタッフ一同は日々研鑽しています。

### 市民公開講座「胃がん撲滅をめざして」&バンドライブ「胃がんをぶっ飛ばせ」



7月24日、八王子駅前のオリンパスホールにて市民公開講座、「胃がん撲滅をめざして」が開催されました。若い方にもピロリ菌の検査や胃がん撲滅に意識を持って欲しいと、NPO法人二十歳のピロリ菌チェックを推進する会が企画したイベントです。たくさんの地域の方々に参加いただき、各病院の医師による胃がんに対する医療講演が行われました。

また、講演後はこの趣旨に賛同した市内の医療機関の医師やスタッフによるバンドライブ「胃がんをぶっ飛ばせ」も開催されました。我らが永生会も、八王子の燃える赤をイメー

ジした真っ赤なコスチュームで「訪問バンドステーション」としてライブに出演しました。懐かしのグループサウンズに始まり、クリニック0（ゼロ）の境野院長の涙そうそうで会場はしっとり落ち着いた雰囲気。さらにEPA（経済連携協定）で来日し、現在は永生病院で介護福祉士として勤めているジョン君によるTop of the worldではみんなで手拍子。そして、八王子市医師会元会長の孫田先生によるソロで聴かせるマイウェイは泣く、心にしみる一曲でした。安藤理事長もヴォーカルとして歌いながら、マラカスを片手にダンスで会場を盛り上げました。



### みんなでGO! GO! GO! プロジェクト（南多摩病院）

この企画は南多摩病院の8Fを開放し、職員の家族の方にお父さんやお母さん、旦那さんや奥さんがどんな所で働いているかを知ってもらいたい、こんな素敵な職場や仲間と働いているなら安心だと思ってもらいたい、お子さんがまだ小さく、安心して花火見物に行けない職員にゆっくり花火を見てもらいたい、そんな想いで毎年開催しているイベントです。

少し前まで保育所に通っていたお子さん達が大きくなって、この場所で再開する喜びは何ものにも変えられません。総勢140名の参加で大盛り上がりとなりました。



### お知らせ

#### 永生病院ならびにイマジンにおける改修工事完了について

永生病院ならびにイマジンにおける改修工事が8月2日をもって完了いたしました。改修に伴い、騒音やシャトルバスの停車位置の変更などご迷惑をお掛けいたしました。ご協力いただきありがとうございました。



#### 永生病院、リハビリ訓練室移転のお知らせ

8月1日より、改修工事と並行して永生病院内のリハビリテーション室およびリハビリスタッフルームがイマジン2階に移転致しました。ご不便等お掛けしますがご理解とご協力をお願いいたします。



お問い合わせ：TEL.042-661-4108（永生病院代表）

## 永生会の地域活動のご紹介

地域との交流は、お互いを知り共有しながら、つながりや縁を深めていける有効な場です。永生会ではそんな地域に根ざした医療と介護を通じた街づくり、人づくり、思い出づくりをモットーに様々な活動に取り組んでいます。今号では恒例の夏祭りに加え、永生会の地域活動の一部をご紹介します。

### めじろ台 & 梶田祭り2016

夏の恒例イベント、近隣地域の夏祭り! めじろ台祭りには毎年、永生病院からは若手職員中心に神輿の担ぎ手として参加しています。EPA(経済連携協定)職員を含む新人にとって地域との交流は病院内だけの勤務だと得られない経験や情報が入ってくるので新鮮です。神輿や山車は病院前まで来てくれ、近隣の子どもたちによる太鼓やソーラン節の披露など、患者様やご家族様にとっても楽しみなイベントです。



### めじろ台祭り



長年付き合いのある町会との交流は病院にとっても欠かせない行事。地域の声から多くの学びも得られます。



25年間めじろ台祭りに参加しているドイツ人のゲーケさん。プロカメラマン並のカメラでいつも撮影に来てくれます。

看護師、管理栄養士、ケアマネジャー等の病院職員たちも準備の段階から町会に参加し、祭りを盛り上げました。



### 梶田祭り



## 突撃取材! 東京八王子トレインズ

東京八王子トレインズは、スローガンに『子ども達に夢と未来を!』を掲げ、東京都八王子市を本拠地としたプロバスケットボールチームです。永生病院が公式スポンサーを務めるようになったということもあり、地域交流として取材に行っていました。

地域に根差したマインドを持つ市民チームで、「八王子市民の」「八王子市民による」「八王子市民のためのバスケットボール」を目標としています。周辺地域の子供たちへのバスケットボールスクールの開校や、八王子市内外のイベント等にも積極的に参加しており、地域の元気の源となるようなチーム作りに努めています。

今回、新たに契約提携しチームに加わった選手3人とキャプテンの鳴海さんにインタビューしました。



常にチームへの気配りを心がけ、あきらめない試合姿勢をモットーとする鳴海キャプテン。チームプレーや信頼関係が形になってきており、勝ち試合も増えてきているとのこと。八王子にとってシンボルとなるチームへ導けるよう、リーグ内での優勝と昇格を目指しています。



左から上松選手、中村選手、浅野選手。新メンバーとして7月に契約締結しました。東京八王子トレインズについての印象を聞くと、地域や子どもたちとの距離が近く、地元の期待や声を肌で感じることができる一体感のあるチームとのこと。



東京八王子トレインズのラッピング自販機。永生病院内に設置されているので探してみてください。

八王子において、プロバスケットボールチームの誕生はこの東京八王子トレインズが初です。地元の大きな期待を背に今後の活躍に注目です。

チームの試合日程や近況はホームページ等をご覧ください <http://trains.co.jp/>



## 地域と顔の見える関係づくり ケアカフェのご紹介



何度かこの広報誌でもご紹介しております、ケアカフェ八王子。ケアカフェは北海道の旭川で誕生した広義でケアに携わる人なら誰でも参加できるお茶会のような交流の場です。8月17日で19回目を迎え、地域の方々を含め様々な職種の方に参加いただいております。

また、7月30日には「第3回 ケアカフェ全国大会 in かんとう」が神奈川県で開催され、スタッフとして職員も参加してまいりました。

医療の業界の方に限らず、地域とのつながりの場として定期的開催されていますので興味のある方は是非ご参加ください。

お問い合わせ

ケア・カフェ八王子実行委員会(担当:湯浅) TEL.080-2349-7308  
Facebookページ: <https://www.facebook.com/carecafe.japan>



この他にも永生会では季節を問わず年間を通じてたくさんの活動に取り組んでいます。今後もこの広報誌において活動を随時ご紹介してまいります。

## まだまだ暑い日が続いています。熱中症にご用心!!

近年ニュースなどもよく耳にする熱中症。身近であるゆえに軽視されやすい病気のため、改めてお話をさせていただきます。

熱中症は暑い環境において身体が適応障害・不調を起こした状態を言い、重症時は命に関わることもあります。毎年5月の連休明けあたりから熱中症の救急搬送は増える傾向にあります。気温が23度ほどであっても、長時間屋外に置かれた車内の最高温度は50度にもなるといいますので、屋外だけでなく高温多湿の室内、車内にもお気をつけください。

特に注意していただきたいのは、5歳以下の幼児、65歳以上の高齢者、肥満者、発熱している人、睡眠不足の方です。個人差はありますが、初期症状として大量の汗に加え、めまい・失神、筋肉痛や筋肉のけいれん（いわゆるこむら返り）が起こります。軽症であれば入院の必要はありませんが、中等症、重症では入院治療が必要となり、場合によっては集中治療室での対応を受けなくてはなりません。

予防対策として、日陰や涼しい室内で安静に休む、小まめな水分と塩分補給を行うことが効果的です。暑い日の無理な運動は避け、運動する場合も小まめに休息を取り、スポーツドリンクなどで適切な水分補給を心がけてください。外出時は吸湿性や通気性の良い軽装で、直射日光の下では帽子を着用してください。その他に不安なことがありましたら、かかりつけの医師に相談しましょう。

熱中症は正しい知識があれば予防できる病気です。救急処置などの正しい知識身につけて、残暑を安全にお過ごしください。



## 「中間施設」から老人保健施設へ

老人保健施設は、その名称が決定するまでは、「中間施設」と呼ばれて議論が進められました。何の中間かという点、当時の社会保障制度審議会の意見書では「重介護を要する老人には、医療面と福祉面のサービスが一体として提供されることが不可欠で、両施設を統合し、それぞれの長所を持ちよった中間施設を検討する必要がある」とあります。ここでいう「両施設」とは、医療機関（病院）と特別養護老人ホームのことで、医療施設と介護施設の中間に位置する施設という意味でした。

ところがこの議論を受けて設置された「中間施設に関する懇談会」では、「医療施設、福祉施設、家庭との間に存在する課題を解決し、要介護老人に対して通所、短期入所サービス及び入所サービスをきめ細かく実施する中間施設の体系的整備を図っていくことが必要」とされ、入所サービスと在宅サービス、あるいはさらに言えば施設と在宅の中間に位置する施設として、在宅復帰の機能が強調されるようになりました。

この後、老人保健法が改正され、「老人保健施設」という名前が決まりました。全国7施設でモデル事業を実施、昭和63年度から制度が本格始動しました。

何と何の中間であるのか、これは実はとても大きな問題です。医療の視点を持ちながら特別養護老人ホームのように終の棲家として介護を行っていくのか、復帰の見込みのある方にリハビリテーション等を行って在宅復帰を目指すのか、提供するサービスが全く異なるからです。しかし、いずれにしてもご利用者が自宅に帰れるのであればそれに越したことはありません。永生会としては、それまでも得意としていたリハビリテーションを軸として在宅復帰への道を目指す方向で、老人保健施設イマジンを平成9年に開設しました。



## 台湾長庚科技大学から看護学生来訪

8月1日～4日の4日間、台湾との交流に尽力されている黒須隆一前八王子市長から当法人を見学先としてご推薦いただき、台湾長庚科技大学の看護学生5名と引率の先生方が当法人を見学しに来訪されました。4日間、看護部からの講義や見学、そして病棟での実習を体験していただき、最終日のティーパーティー也大盛り上がり。お互いに医療や介護の文

化の違いも含め、多くを学ぶことのできた来訪でした。



### あのかた このかた

気になる職員にスポットを当ててご紹介するこのコーナー。今号では、介護老人保健施設イマジンの各サービスを統括する看護師の中野科長にインタビューしてきました。

なかの ふみえ  
介護老人保健施設イマジン サービス科 科長 中野 文江



## より良いサービスと、職員間のバリアフリーを目指して

### ●イマジンで勤めるようになったきっかけを教えてください

東京都立神経病院では脳外科やICU（集中治療室）などの現場に勤めていました。ある時、入院されている患者様が自力で移動しようとして転倒してしまいました。皆さんに迷惑をかけたくないという理由で無理して私たちが頼らなかったのです。この患者様は威厳のある方でしたが、その瞬間はとても小さく見えました。ここをきっかけに尊厳を持ってその人らしい生活のお手伝いをする、そんな仕事への関心が強くなっていきました。

### ●看護や介護の業務で大切にしていることは何ですか？

生活の視点に立ったサービスを心がけています。スタッフ全員がその人の生活を支えるといったイメージですね。また、現場の看護職もリハ職も介護職も、それぞれが補い合ってフォローするような職員間のバリアフリーも大切にしています。

### ●今後何か力を入れたいことは？

介護職をヒーローにしたい、そう考えています。世間一般的に介護職は待遇が良くありません。誇りを持って働けるよう、環境やモチベーションの向上に注力しています。また、このためには経営の目線もまた重要です。マインドだけではなく、しっかりした利益の確保も私の重要な業務です。結果、施設や職員の環境を豊かにできますから。

### ●最後にメッセージをお願いします。

介護の現場ははっきり言って大変なことがたくさんあります。でも、「まあいいじゃん、大丈夫でしょ!」という前向きな気持ちをいつも持ってほしいです。そして自分の頑張りが結果的にイマジンを作っていく、豊かにしていく、そんな意志を持ってもらえれば、現状をもっと良くしようと挑戦し続けることが出来ると思います。

このイマジンはそのようなマインドに共感してくれた職員でつくられた施設です。地域の皆様に頼られる施設となれるよう、これからも努めてまいりますのでよろしく願いいたします。

### Profile

- 資格：看護師、介護支援専門員（ケアマネジャー）
- 経歴：昭和57年 都立神経病院、平成3年 相原病院 透析室勤務、平成9年 永生病院 訪問看護室勤務  
平成11年 永生会 訪問看護ステーションとんぼ開設、平成15年 永生会 介護老人保健施設イマジン勤務
- 得意分野：洗体業務 ●趣味：サスペンスドラマ鑑賞